

令和元年7月1日

戸田市薬剤師会
染川 智行会長

ひつじ堂薬局 野口昌也

公平病院事務長との面会報告

公平病院からの下記内容の問い合わせにて、下記のとおり対応しましたので
ご報告いたします。

記

日時： 令和元年6月20日 午前10時30分～午前11時00分

場所： 公平病院会議室

参加者：公平病院 狩野事務長、薬剤部 BCP 担当者 野口

問い合わせ内容：

- 1、薬剤師会としての取り組みや、連携体制の構築状況について
- 2、大規模災害時の調剤薬局との連携について

災害時には処方箋なしで調剤できるのか
病院で不足した薬剤を借りれるのか

返答内容

- 1、 会としては、災害拠点薬局を設置し、情報や資源を集中して状況把握しながら対応
すべく準備をしている最中である。また、戸田市行政と医薬品および薬剤師の供給派
遣については協定を結んでいるものの具体的な内容については設定されておらず、こ
のことがこちらとしても先に進めていない一つの要因となっている。南部医療圏の災
害調整会議等にも参加し連携については模索している段階であり、今後、医師会や戸
田市行政とも具体的な連携を構築していく必要があると考えている。
- 2、 災害の規模や被災の状況によっては、お薬手帳による調剤が可能になる場合もある
が、これは行政の判断によるところとなる。会としては行政の通達を速やかに会員薬
局に伝達できる体制を構築しているところである。

薬局からの医薬品等の貸与や提供に関しては現在のところ個々の薬局の判断となり、
会としては返答できない。備蓄の概況については災害拠点薬局で把握するつもりでい
るが、品目を限定した詳細については現在のところ対象としていない。受援物資の流
れについて現状では不明であり、会で管轄するかは未定である。不足が起きた段階で
拠点薬局に問い合わせいただく分には問題ないとする。

以上